公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益財団法人高知県文化財団		主管課名	文化振興課
役　割	文化財等の調査研究、収集、保存、教育普及活動等を担う県立文化施設（美術館、歴史民俗資料館、坂本龍馬記念館、文学館及び埋蔵文化財センター）の管理運営等を通じた県内への質の高い芸術文化の提供			
改革の方向性	健全経営の確保	主な事業内容	・県立文化施設(5施設)の管理運営 （指定管理者） ・芸術文化の振興、教育普及 ・埋蔵文化財発掘調査の受託	

令和7年度までの取組実績	１事業運営改善 (1)役割の明確化 ・平成17年3月に策定した「高知県立文化施設の目指すべ き方向」を踏まえ各文化施設の役割を明確化 (2)事業計画に基づく事業の実施 ・事業評価の結果や運営協議会での意見を踏まえた事業 計画の策定 ・事業計画に基づく事業の着実な遂行 (3)各文化施設及び他団体等との連携強化 ・財団本部企画課において各文化施設の事業連携に向け た調整及び広報を実施 ・こうちミュージアムネットワーク（R7年度末 84施設） を活用した情報発信 ２経営改善 (1)組織体制のスリム化 ・県の人的関与の見直し （H16:35人、H25：23人、H26：18人、H27:18人、 H28：19人、H29：17人、H30:16人、R1:14人、 R2:14人、R3:13人、R4:13人、R5:9人、R6:7人 R7:7人） (2)財務基盤の安定 ・収入の確保 入館者、利用者の確保に向けた利用促進 ミュージアムショップ等の販売促進 外部資金(協賛金、助成金等)の安定的確保　等 ・経費の削減 入札等による管理経費の削減 人員体制の見直し　等 (3)情報公開の促進 ・経営の透明性を確保するため、財務諸表や事業計画、 活動内容などの情報を積極的に公開 ３公益法人への移行 ・平成24年4月1日　公益財団法人へ移行完了	経営課題等	１組織の体質強化 ・組織体制の見直し ・組織の活性化に向けた取組の推進 ・職員の資質・専門性向上と人材の確保 ２財政基盤の安定 ・魅力的な企画展の開催等による入館者増への取組 ・自主財源の安定的確保 ３文化施策の効率的な推進 ・県内の芸術文化を担う中核（拠点）機能の強化 ・県民ニーズへの柔軟な対応 ・他団体、他分野との連携の強化

【令和7年度以降の取組方針】

１組織の体質強化
- 財団本部機能の強化を図るとともに、各文化施設の事業内容に応じた組織体制の見直しを行う。
- 柔軟な人員配置を行うなど、引き続き組織の活性化に向けた取組を行う。
- 職員の資質・専門性向上を図るとともに、適切な人材の確保に努める。

２財政基盤の安定
- 入館者の増加に向け、県民の関心の高い企画展の開催や効果的な広報等を行う。
- 企画展関連グッズの販売や助成金の獲得等により、安定的な自主財源の確保に努める。

３文化施策の効率的な推進
- 自主企画事業の実施に加え、県内の自治体や文化団体等の事業を牽引する役割を果たす。
- 事業評価等の結果を踏まえた事業展開を図る。
- 観光分野、教育分野等との連携を強化しながら、幅広い取組を推進する。